



解説

| | |
|--|--|
| <p>①人間に欲求レベルがあるように、その人間が作った組織(法人・個人事業問わず)にも欲求レベルがあるが、高次欲求に行きつくためにはまずは生存欲求(人間なら死なない事、組織ならば潰れない事)を満たす必要がある</p> | <p>②【組織が潰れるとき＝赤字の時】というわけではなく、お金を借りる事も出来なくなって手元に支払する現金がなくなった時</p> |
| <p>③貸借対照表は開業してから今までのその組織の“年輪”を表現し、損益計算書はその一年間の“儲ける力”を表現する</p> | <p>④組織は(まずは)生存欲求を満たすべく、どこかから資金を調達してきて、何かに資金を運用する</p> |
| <p>⑤資金の調達方法は大きくは【他人からの調達＝負債】と【組織内からの調達＝純資産】に分かれる</p> | <p>⑥原材料に付加価値を付けて販売して売上高となり、そこからさまざまな経費を控除する事で、その年単年度での収支が分かる</p> |
| <p>⑥税引前利益から納税を引いたものが蓄積されて純資産を積み上げ、そこから借入返済をしたものが手許現金として蓄積される</p> | <p>⑦どんなに頑張って分析をして計画を立てても、そもそもの資料が正確でなければ意味がないので、正しい経理処理が大前提</p> |